

ふたば



第1章

70年 年表

浜通り地方のほぼ中央に位置する双葉町は1951(昭和26)年4月1日に新山町と長塚村が合併し、標葉町として誕生した。双葉町と改称したのは1956(昭和31)年4月1日。新生「双葉町」の誕生以来、公共施設や文教施設を次々に整備し、医療、町民福祉、行政サービスなどの充実を図ってきた。町民憲章や町章、町の花・木・鳥を制定した。古い歴史を誇る「ダルマ市」など町民が楽しみにする行事が数多くあった。しかし、2011(平成23)年3月11日に発生した東日本大震災と原発事故で町の様相は一変した。その後、復興への動きが加速している。合併以来、70年の歴史を10年ごとに刻み、年表と町の進展の様子がうかがえる写真、新聞記事や広報ふたばで振り返る。2022(令和4)年8月27日に双葉町役場新庁舎が町内に開庁し、8月30日に特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された。これら震災以降の歩みも併せて記す。

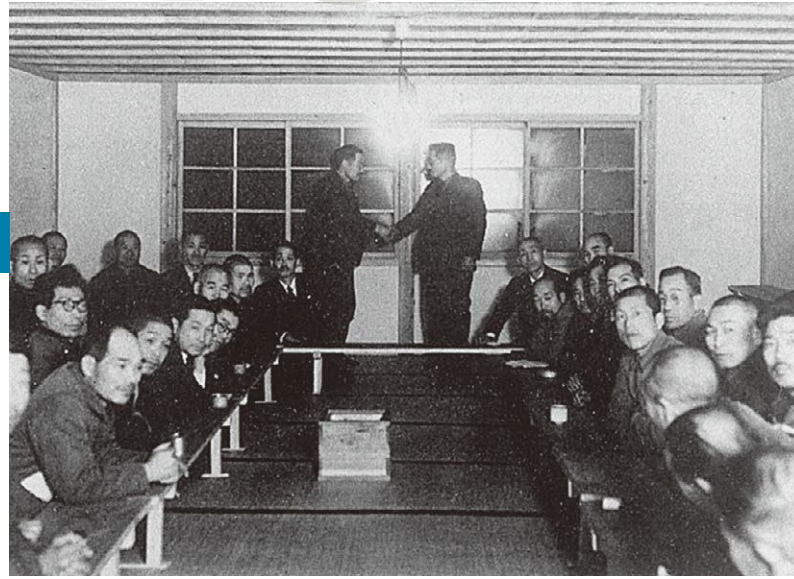
1951.4 ▶ 1961.3

合併から 10年

1951(昭和26)年4月 ▶ 1961(昭和36)年3月

1951(昭和26)年4月1日に新山町と長塚村が合併して標葉町が誕生した。初代町長に天野楯夫氏が就任した。5年後の1956(昭和31)年4月に町名を現在の双葉町に改称した。

町役場を新山字広町に新築、移転した。町営住宅や標葉中学校の屋内運動場、公民館など公共施設が完成し、新しい町の基盤が整備された。



新山町と長塚村の合併が決まった瞬間。握手する山田町長と千代田村長(新山たばこ収納所)



旧新山町役場の職員=昭和26年5月



旧長塚村議会解散当時の村会議員と役場職員



長い年月の間に浸食された郡山海岸=昭和27年ごろ



護岸工事が行われた郡山海岸=昭和31年3月

1889 明治22年
4月 新山村、長塚村誕生

1913 大正2年
4月 新山町制を施行

1923 大正12年
4月 県立双葉中学校開校(昭和23年4月、現在の県立双葉高等学校と改称)

1951 昭和26年(4月~)
4月1日 標葉町誕生(新山町・長塚村合併)

- 4月** 役場仮庁舎を大字新山字北広町81番地(旧新山町役場)に設置
標葉町長職務代理者に千代田忠氏就任(前長塚村長)
標葉町初代町長に天野楯夫氏就任(選挙)
- 標葉町議会発足
初代町議会議長に石田忠治氏就任、副議長に林政千代氏就任
- 5月** 初代助役に井戸川勇氏、収入役に大井智氏就任

【県内】只見川電源柳津発電所建設許可(10.12) 裏磐梯秋元湖で人工降雨実験(10.24) 【国内】マッカーサー元帥離任(4.16) 講和・安保両条約批准(11.19) 【国際】第1回アジア競技大会開催(3.4)

1952 昭和27年
1月 標葉町保育園設置認可(現在の私立まどか保育園)

- 5月** 役場庁舎落成式(大字新山字広町40番地に移転)
- 6月** 町議会議長に伊澤七治氏就任
- 8月** 標葉中学校校舎落成式(大字長塚字鬼木)
- 11月** 標葉町教育委員会発足、町教育委員会教育長に井戸川勇氏就任
- 12月** 町議会議長に作山卯太郎氏就任

【県内】第7回国体本県で開催(10.19~23) 市町村教育委員会が誕生(11.1) 【国内】海上保安庁発足(8.1) 総選挙(10.1)と第4次吉田内閣発足(10.30) 【国際】米第34代大統領にアイゼンハワー氏(11.4)

1953 昭和28年
1月 第1回成人式挙行

4月 標葉町立長塚小学校寺沢分校開校

5月 町教育委員会教育長に黒木忠雄氏就任

【県内】異常気象続き、県冷害対策本部を設置(9.17) ラジオ福島が開局(12.1) 【国内】風水冷害と凶作(6~9月) 【国際】英登山隊のエドモンド・ヒラリー氏がエベレスト初登頂(5.29)

1954
昭和29年

- 3月 町営住宅(清戸迫1戸、北目4戸)完成
- 9月 第1回 町民体育祭を開催

【県内】町村合併により7市誕生(3.20~7.10) 県庁舎落成(10.5) 田子倉ダム着工(11.30) 【国内】洞爺丸沈没、死者不明1155人(9.26) 【国際】米アイゼンハワー大統領が「沖縄の米軍基地は無期限に保持」と表明(1.7)

1955
昭和30年

- 2月 前田の大杉 県天然記念物に指定
- 4月 町長に富沢理七氏就任(選挙)
- 町議会改選。議長に中島政徳氏、副議長に遠藤徳衛氏就任
- 5月 助役に渡部宏綱氏就任、収入役に大井智氏再任
- 8月 町教育委員会教育長に渡部宏綱氏就任
- 12月 標葉中学校屋内運動場(体育館)落成

【県内】各種選挙相次ぐ(2月総選挙、4月統一地方選) 米やタバコ、果実など大豊作 【国内】保守、革新2大政党時代へ(10~11月) 【国際】英のチャールズ首相引退(4.5)

1956
昭和31年

町名を双葉町に

- 4月1日 町名を双葉町と改称
- 4月 町内各学校名を双葉南小学校、双葉北小学校、双葉中学校、双葉保育園と改称
- 12月 寺沢地区を最後に無電灯地区なくなる

1957
昭和32年

- 1月 助役に中島政徳氏就任
- 町議会議長に朝田貫一氏、副議長に遠藤徳衛氏就任
- 町教育委員会教育長に笠原一郎氏就任
- 3月 新山町、長塚村農業共済組合合併により双葉町農業共済組合設立
- 4月 新山郵便局を双葉郵便局と改称
- 5月 急行「北上号」が双葉駅南方(前田地点)で転覆
- 双葉町立伝染病隔離病舎落成(新山久保前)

【県内】新知事に佐藤善一郎氏(8.25) 【国内】茨城県東海村で初めて原子の火灯る(8.27) 【国際】英、クリスマス島で水爆実験(5.15)

1958
昭和33年

- 4月 浪江町大字中野全域及び大字両竹の一部編入
- 5月 新山町・長塚村農業協同組合が合併
- 9月 台風22号で大水害
- 10月 町で国民健康保険発足

【県内】台風21号で大雨被害。死者13人(9.17、18) 台風22号で大被害。死者23人(9.26、27) 【国内】宮内庁、皇太子さまと正田美智子さんのご婚約を発表(11.27) 【国際】アメリカ航空宇宙局(NASA)設立(10月)

1959
昭和34年

- 3月 町体育協会設立総会
- 町営住宅(大畑10戸)落成
- 4月 町長に富沢理七氏再任
- 町議会改選。議長に朝田貫一氏、副議長に遠藤徳衛氏就任
- 5月 収入役に横山達氏就任
- 10月 長塚駅を双葉駅と改称
- 公民館落成(旧第2公民館・新山広町)

【県内】東大医学部長吉田富三氏(浅川町出身)に文化勲章(11.3) 観光有料道路磐梯吾妻スカイライン開通(11.5) 【国内】皇太子さまご結婚(4.10) 伊勢湾台風で死者5041人、被害家屋57万戸(9.26、27) 【国際】キューバ革命(1.1)

1960
昭和35年

- 3月 町営住宅(町東10戸)落成
- 4月 浪江町大字中浜、大字両竹の一部編入

【県内】天皇・皇后両陛下がご来県、県立盲ろう学校などご視察(5.11、12) 田子倉ダム完工式(10.6) 【国内】新安条約に調印(1.19) 浩宮さまご誕生(2.23) 【国際】米大統領にJ.F.ケネディ氏(11.8)

1961
昭和36年
(~3月)

- 1月 助役に中島政徳氏再任
- 町商工会設立

【県内】東北本線福島-仙台間電化が開通(3.1) 【国内】日本海側で豪雪、列車100本立ち往生(1.1) 【国際】米、キューバと国交断絶(1.3)



標葉中学校の校舎建築の上棟式=昭和27年8月



標葉高等洋裁学院の卒業記念写真撮影(昭和27年5月に落成した新役場前) =昭和28年3月



耕うん機が使われ始めたころの農作業=昭和31年



町立伝染病隔離病舎の落成式=昭和32年5月



台風22号で大きな被害を受けた町内=昭和33年9月

1961.4 ▶ 1971.3

合併から20年

1961(昭和36)年4月 ▶ 1971(昭和46)年3月

双葉南小学校の校舎や屋内運動場、双葉北小学校の校舎建設に取り組んだ。双葉中のプール、町児童館、町体育館など教育施設やスポーツ施設などが次々に完成。子どもたちの教育環境の整備が進展した。双葉南小学校の敷地造成中に横穴古墳群から装飾壁画を発見するという出来事もあった。また、双葉厚生病院が開院し、医療体制が充実した。1971(昭和46)年3月に東京電力福島原子力発電所の1号機が営業運転を開始した。



設置された時報サイレン=昭和36年7月

1961
昭和36年
(4月~)

- 5月 町商工会創立総会
- 10月 双葉町議会が原子力発電所誘致を議決

【県内】皇太子ご夫妻ご来県(5.31、6.1) 仙台高裁、松川事件差し戻し審で無罪判決(8.8) 天皇・皇后両陛下ご来県(9.6、7) 【国内】第2室戸台風で死者202人、被害家屋98万戸(9.16) 【国際】ソ連の有人宇宙船地球1周に成功(4.12)

1962
昭和37年

- 7月 公民館長、専任館長制に(従来は町長兼任)
- 8月 町教育委員会教育長に小野田恵助氏就任

【県内】県などが共同で新会社「福島テレビ」(3.23) 奥只見発電所の完工式、総工費387億円(6.8) 【国内】堀江謙一氏、日本人で初めて小型ヨットで太平洋横断、サンフランシスコ着(8.12) 【国際】仏総選挙、ドゴール体制確立(11.25)

1963
昭和38年

- 4月 双葉中学校校舎落成
町長に田中清太郎氏就任(選挙)
町議会改選。議長に山田秀雄氏、副議長に作山卯太郎氏就任
- 5月 収入役に横山達氏再任
- 6月 双葉町農業協同組合会館落成
- 9月 助役に真船康茂氏就任

【県内】民間テレビ第1号の福島テレビ開局(4.1) 常磐・郡山地区新産都市指定決定(7.12) 【国内】北陸地方で豪雪。会津でも大寒波、豪雪記録(1.23) 東京で吉展ちゃん誘拐事件発生(3.31) 【国際】ケネディ米大統領、ガラスで暗殺(11.22)

1964
昭和39年

- 3月 双葉南小学校石熊分校廃止
町営住宅(広町24戸、谷沢町5戸)落成
- 4月 郡山海水浴場に海の家落成
- 10月 町老人クラブ連合会発足

【県内】東京オリンピックで円谷幸吉(マラソン)、大内仁(重量挙げ)両選手ら県勢が大活躍(10.10~24) 【国内】王貞治選手、本塁打55本の日本新記録(9.23) 東京オリンピック華やかに開催(10.10~24) 【国際】中国、最初の原爆実験に成功(10.16)

1965
昭和40年

- 3月 双葉北小学校寺沢分校廃止
町営住宅(町西8戸・谷沢町8戸・広町5戸)落成
- 8月 双葉中学校のプール完成(郡内初)

【県内】郡山市が合併で20万都市誕生(5.1) 「県の鳥」にキビタキ(5.10) 鶴ヶ城天守閣再建し落成式(9.17) 【国内】朝永振一郎氏にノーベル物理学賞(11.3) 日韓基本条約が成立(12.11) 【国際】米軍機、北ベトナムのドンホイを爆撃・北爆開始(2.7)

1966
昭和41年

- 3月 町営住宅(町西5戸・谷沢町10戸・前田5戸)落成
- 8月 農村集団自動電話開通
- 11月 町児童館落成開館(新山広町)
- 12月 内閣総理大臣が福島原子力発電所1号炉の設置を許可
国道6号開通

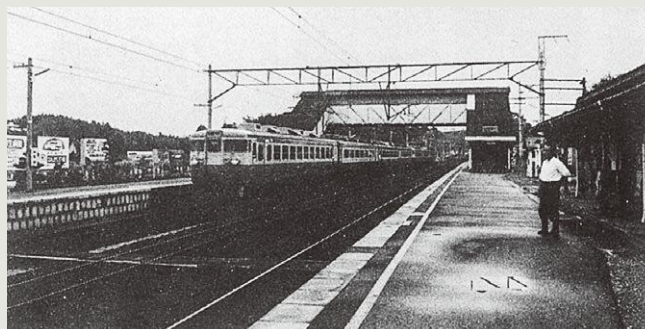
【県内】「県の木」ケヤキに決まる(9.28) 日本一の広域都市いわき市が誕生(10.1) 県内の稲作史上最高(11月) 【国内】航空機事故相次ぐ。全日空、BOAC、カナダ航空が墜落、死者多数(2~3月) 全日空の国産機墜落(11.13) 【国際】中国文化大革命始まる(5.16)



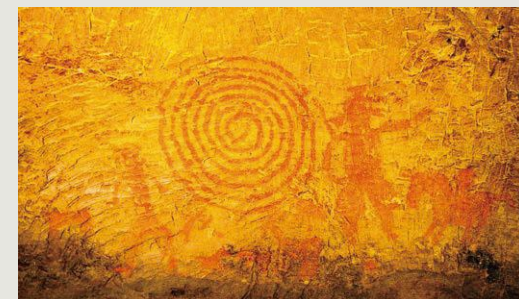
全国学校器楽合奏コンクールで優勝した双葉中器楽部。昭和38年12月



完成した海の家。昭和39年4月



電化された常磐線=昭和42年10月



双葉南小の敷地造成中に横穴古墳群から発見された装飾壁画

1967
昭和42年

- 1月 双葉南小学校を清戸迫に新築起工式
- 3月 町営住宅(町西8戸・前田2戸・谷沢町10戸)落成
- 4月 町長に田中清太郎氏再任
- 5月 町議会改選。議長に作山卯太郎氏、副議長に菅本喜雄氏就任
収入役に横山達氏再任
- 8月 双葉厚生病院が落成、開院(昭和54年7月、管理診療棟増改築により254床となる)
双葉中央公園造成完成(旧称：権現山)、双葉忠魂碑を天王山から移転
- 10月 常磐線全線電化
- 11月 双葉南小学校敷地造成中、横穴古墳群から装飾壁画発見

【県内】阿武隈山系開発、本格始動(7~10月)福島医科大学付属病院に県立がんセンターが落成、本格治療を始める(10.6)【国内】吉田茂元首相死去(10.20)、戦後初の国葬(10.31)佐藤首相訪米と小笠原返還決定(11.15)【国際】欧州共同体(E.C)成立(7.1)

1968
昭和43年

- 1月 助役に横山達氏、収入役に坂下清治郎氏就任
- 3月 町営住宅(谷沢町20戸)落成
- 4月 双葉町簡易水道施設整備事業着工
井手・長塚線道路舗装開通(一部未完)
東電双葉社宅高万迫団地(1、2号棟)落成

- 5月 清戸迫横穴装飾古墳、国史跡に指定
- 7月 双葉南小学校校舎第1期工事完成
- 12月 東電双葉社宅高万迫団地(3~8号棟)落成

【県内】円谷幸吉さん自殺(1.9)メキシコ五輪で大内仁(重量挙げ)、佐藤哲夫(バレーボール)選手ら県勢大活躍(10.13~27)【国内】札幌医大で初の心臓移植手術(8.8)東大など一連の学園紛争(年間)川端康成氏にノーベル文学賞(10.17)【国際】米でキング牧師暗殺(4.4)

1969
昭和44年

- 2月 双葉南小学校校舎第2期工事完成(大字新山字清戸迫1番地に移転)
- 3月 町営住宅(下条10戸)落成
- 8月 東電双葉社宅高万迫団地(9~13号棟)落成
- 11月 町体育館及び町公民館落成

【県内】郡山市の磐光パラダイスで火災、大惨事に(2.5)【国内】東大紛争収拾へ安田講堂落成(1.19)1972(昭和47)年の沖縄返還決まる(11.21)衆議院解散し、師走の総選挙(12.27)【国際】米宇宙船アポロ11号月面着陸に成功(7.20)

1970
昭和45年

- 3月 双葉北小学校校舎第1期工事完成
広域(葛尾、浪江、双葉)隔離病舎が双葉厚生病院地内に落成(町立隔離病舎廃止)
双葉駅前拡張、駅前一久保前(駅前通り)整備完了
- 4月 町交通安全母の会発足



隣接する町体育館と町公民館



完成した町営住宅の谷沢町団地=昭和43年3月



完成した町営住宅の下条団地=昭和44年3月



拡張される前の双葉駅前



完成した双葉駅前の拡張工事=昭和45年3月



双葉南小の屋内運動場

- 5月 大阪万国博覧会で京都府瑞穂町(現在の京丹波町)の太田敏博町長と田中清太郎町長がテレビ対談した縁で姉妹町交流を開始
- 9月 簡易水道給水開始(渋川、鴻草、中田、長塚、新山地区)
- 10月 双葉高校新校舎落成
- 12月 双葉北小学校校舎第2期工事完成

【県内】いわきの恐竜「フタバズキリュウ」と命名(1.20)福島中央テレビが開局(4.1)天皇・皇后両陛下を迎え天鏡台で全国植樹祭(5.19)【国内】大阪で日本万国博覧会(3.14~9.13)【国際】ペルーで大地震、死者7万人超(5.31)

1971
昭和46年
(~3月)

- 2月 双葉南小学校屋内運動場落成
- 3月 簡易水道拡張給水完成(前田地区)
福島原子力発電所1号機の営業運転開始

【県内】猪苗代湖のハクチョウ、国天然記念物に指定(3.29)【国内】成田空港公団、1坪地主らの所有地の第1次強制代執行に着手(2.22)【国際】100カ国、海底軍事利用禁止条約に調印(2.11)

1971.4 ▶ 1981.3

合併から30年

1971(昭和46)年4月 ▶ 1981(昭和56)年3月

1972(昭和47)年10月31日に双葉町合併20周年記念式典が行われた。子どもたちの教育環境の整備はなお進み、双葉南小学校プール、双葉北小学校の屋内運動場やプール、町幼稚園の園舎やプール、双葉中学校の校舎、体育館、プール、武道館などが建設された。町老人福祉会館や町営住宅も相次いで建設された。生活基盤整備では、町上水道創設工事に着手した。1981(昭和56)年3月11日に町合併30周年記念式典が行われ、併せて町民憲章が制定された。



完成した久保前の地下道 昭和47年3月

1971
昭和46年
(4月～)

- 4月 町長に田中清太郎氏再任
- 5月 町議会改選。議長に作山卯太郎氏、副議長に大塚充氏就任
- 6月 町内小・中学校連合PTA結成
- 9月 福島原子力発電所5号機の設置許可
- 11月 第1回町民号(笠間稲荷神社)
- 12月 福島原子力発電所5号機着工

【県内】常磐炭鉱が閉山(4.28)磐城高校、夏の甲子園で準優勝(8.16)12階建ての県庁西庁舎が落成(11.16)【国内】沖縄返還の協定に調印(6.17)岩手県栗石町で自衛隊機と全日空機衝突(7.30)【国際】国連総会、中国の国連復帰を承認(10.25)

1972
昭和47年

- 1月 収入役に坂下清治郎氏再任
- 2月 双葉北小学校校舎落成
- 3月 双葉町商工会館落成
簡易水道拡張給水完成(郡山、細谷地区)
国道6号久保前地下道開通
- 4月 町立双葉幼稚園設置(双葉南小学校内に併設)
相双母子休養ホーム(ふたば荘)落成
- 8月 助役に森向栄氏就任
- 10月 町教育委員会教育長に佐藤春治氏就任

10月31日 双葉町合併20周年記念式典挙行、町章制定

12月 簡易水道拡張給水完成(中野、中浜、両竹の一部地区)
福島原子力発電所6号機設置許可

【県内】大相撲初場所栃東(相馬市出身)が平幕優勝(1.23)ミュンヘン五輪の男子バレーボールで佐藤哲夫選手が本県初の金メダル(9.9)磐梯吾妻レークライン開通(10.20)【国内】元軍曹横井庄一さん、グアムの密林で救出(1.24)【国際】テルアビブ空港で乱射事件(5.30)

1973
昭和48年

- 3月 特急列車が初めて双葉駅に停車
電話自動化開通式
- 5月 福島原子力発電所6号機着工
- 6月 町議会議長に大塚充氏、副議長に相川昇氏就任
- 7月 5月8日に完成した双葉南小学校プールのプール開き
- 9月 双葉北小学校屋内運動場(体育館)落成

【県内】60年ぶりの干ばつで農作物被害(7、8月)東北自動車道白河-郡山間が開通(11.26)【国内】東京で金大中事件(8.8)熊本の大洋デパートで火災、史上最大のデパート火災に(11.29)【国際】ニクソン米大統領、ベトナム戦争終結宣言(1.29)

1974
昭和49年

- 4月 東電双葉独身寮落成(新山字広町)
モニタリングポスト山田、郡山地区に設置(県2基)
- 7月 TLD(熱蛍光線量計素子)を旧双葉中学校校庭に設置(東電1基)
福島第一原子力発電所2号機営業運転開始
- 10月 双葉中学校敷地造成工事着手(旧南小跡)
- 11月 町立双葉幼稚園園舎落成(大字新山字下条90番地に移転)
- 12月 浪江消防署双葉分遣所を設置

【県内】猪苗代で本県初の国体スキー(2.16~20)、皇太子ご夫妻来県(2.16~18)県内からSLが完全に姿消す(10.31)【国内】ルパン島から元陸軍少尉小野田寛郎さん帰還(3.12)田中首相退陣(11.26)し、三木政権発足(12.9)【国際】ニクソン米大統領、ウォーターゲート事件で辞任(8.8)

1975
昭和50年

- 2月 上水道創設工事着手
- 3月 町議会議長に相川昇氏、副議長に志賀正重氏就任
双葉駅~北広町通り全線開通



双葉町商工会館



双葉南小に完成したプール=昭和48年7月

3月 町営住宅(郡山西原20戸)落成
TLD(熱蛍光線量計素子)を双葉北小学校敷地に設置(県1基)

4月 町長に田中清太郎氏再任(選挙)
広町～下条(国道288号～柳通り)整備開通

5月 町議会改選。議長に伊澤昭久氏、副議長に志賀正重氏就任

7月 東電新双葉社宅(原田団地2～5号棟)落成

双葉北小学校プール完成
双葉幼稚園プール完成

10月 東電新双葉社宅(原田団地1、6号棟)落成
国鉄深谷こ線橋完成

11月 請戸川農業水利事業大柿ダム着工
第1回町民山登り大会

【県内】東北自動車道郡山～白石間が開通(4.1) 田部井淳子さん(三春町出身)、女性初のエベレスト登頂(5.16) 【国内】英国のエリザベス女王夫妻初来日(5.7) 天皇・皇后両陛下初のご訪米(9.30～10.14) 空前のスト権スト(11.26～12.3) 【国際】ベトナム戦争終結(4.30)

6月 国道6号下条地下道開通

8月 助役に森向栄氏再任

10月 町教育委員会教育長に立野徳氏就任

【県内】県政汚職で木村知事ら逮捕(4～8月) 冷害で稲作戦後2番目の不作(8～11月) 【国内】ロッキード事件で田中前首相逮捕(7.27) モントリオール五輪開幕(7.17)、男子体操5連覇 【国際】中国で天安門事件(4.5)

1977
昭和52年

3月 双葉中学校校舎第1期工事完了

4月 東電新双葉社宅(原田団地7～10号棟)落成

TLD(熱蛍光線量計素子)を郡山、双葉南小学校敷地に設置(県2基)

8月 町民グラウンド(旧双葉中学校校庭)に夜間照明設備工事完成

【県内】不況で企業倒産、閉鎖相次ぐ(年間)200カ イリ問題、本県も影響深刻(2～12月) 【国内】巨人の王貞治選手、756本の本塁打世界記録を達成(9.3) 日本赤軍、日航機乗っ取り事件(9.28) 【国際】第1回アラブ・アフリカ首脳会議(3.7)

1978
昭和53年

3月 双葉中学校校舎第2期工事完了(大字新山字東館1番地に移転)

えつば橋(目迫)、矢の目沢橋(上羽鳥)竣工

福島食糧事務所双葉支所双葉出張所統廃合により富岡支所に合併

農林漁業用揮発油税財源身替農道整備道路(上羽鳥～石熊農免道路)開通式

1976
昭和51年

1月 収入役に坂下清治郎氏再任

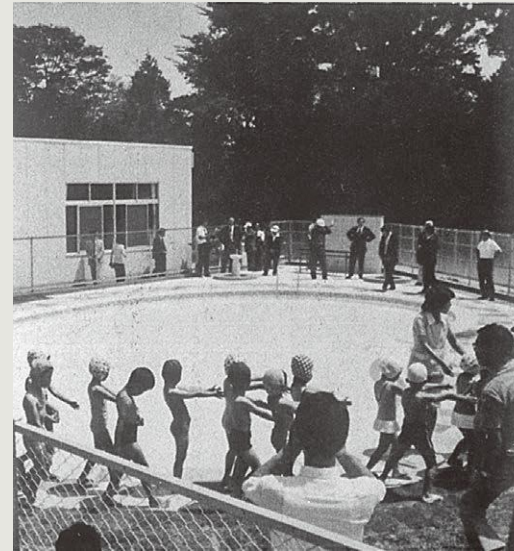
3月 町営住宅(郡山西原10戸)落成

常磐線大野駅～双葉駅間複線化

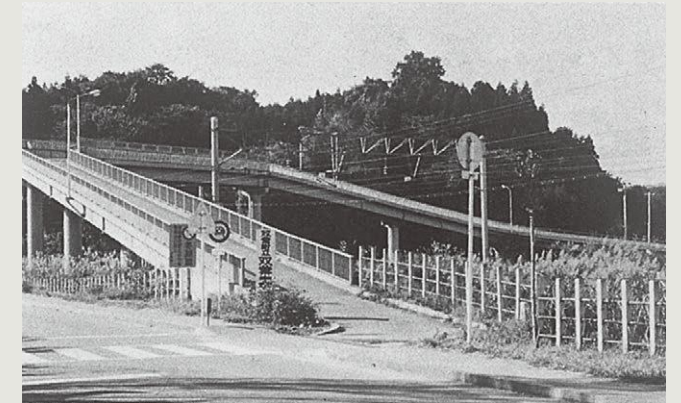
国鉄目迫線地下道開通式

福島第一原子力発電所3号機営業運転開始

4月 町老人福祉会館が落成、開館



双葉幼稚園に完成したプールで遊ぶ園児たち=昭和50年7月



完成したこ線橋=昭和50年10月



石熊砂防ダムの起工式=昭和51年2月



完成した町営住宅の西原団地=昭和51年3月



目迫線地下道の開通式=昭和51年3月



開通した大畑線(館下)の地下道=昭和52年8月



農免道路開通式=昭和53年3月

4月 福島第一原子力発電所5号機営業運転開始

5月 東電前田独身寮(前田反町)落成

6月 田中町長ブラジル移民70周年祭記念祝式典に参加

7月 町営住宅(前田団地1号棟)落成

10月 福島第一原子力発電所4号機営業運転開始

【県内】銀行強盗相次ぐ(3～11月) 宮城沖地震で県内に大打撃(6.12) 全国高校体育大会(インターハイ)本県で開催、県勢活躍(8.1～20) 【国内】日中平和友好条約締結(8.12) 【国際】英で世界初の体外受精児誕生(7.25)

1979
昭和54年

- 3月 町営住宅(前田団地2号棟)落成

伊賀橋(郡山)、官福橋(上羽鳥)竣工

双葉保育園増築

双葉中学校校舎第3期工事完成(落成)(昭和54年10月・技術室、昭和55年1月・体育館、昭和55年5月・プール、昭和55年8月・武道館完成)

根小屋川改修完了(昭和52年4月～昭和54年3月・大畑～目迫愛宕下)

東邦銀行双葉支店開店
- 4月 町長に田中清太郎氏再任
- 5月 町議会改選。議長に伊澤昭久氏、副議長に宮本邦男氏就任
- 6月 広域消防双葉分遣所廃止、浪江消防署に統合

双葉幼稚園学級増に伴い遊戯室落成
- 7月 双葉厚生病院増改築完了
- 10月 福島第一原子力発電所6号機営業運転開始

【県内】銀行の集金車1900万円積んだまま盗まれる(Nマート事件、3.5)尾瀬分水問題再燃で反対運動(6～12月)【国内】初の国立大学共通1次試験(1.13)総選挙で自民単独支配揺らぎ「40日抗争」始まる(10.7)【国際】ソ連、アフガニスタン侵攻(12.27)

1980
昭和55年

- 1月 坂下橋(細谷)、松迫橋(山田)竣工
- 3月 町営住宅(前田団地3号棟及び集会所)落成

収入役に遠藤昭氏就任

- 6月 資源エネルギー庁福島運転管理専門官事務所を開設
- 7月 町役場新庁舎敷地取得
- 8月 助役に森向栄氏再任

町～中野中浜線改良舗装完了

町都市計画用途地域決定
- 10月 第1回健康マラソン大会開催

町教育委員会教育長に渡辺豊光氏就任

石熊砂防ダム完成止水式

【県内】県が農産物不順天候対策本部を設置。戦後最悪の冷害で被害総額は661億円を越す(7～8月)伊東正義官房長官が首相臨時代理に(6.12)【国内】大平首相が急死(6.12)衆参同日選挙で自民が圧勝(6.22)鈴木内閣発足(7.17)【国際】モスクワ五輪、日本などボイコット(7月)

1981
昭和56年
(～3月)

- 2月 町公共下水道事業認可及び処理場用地取得
- 3月11日 双葉町合併30周年記念式典挙行
- 3月 町民憲章制定
- 11月 町公共下水道事業に着工

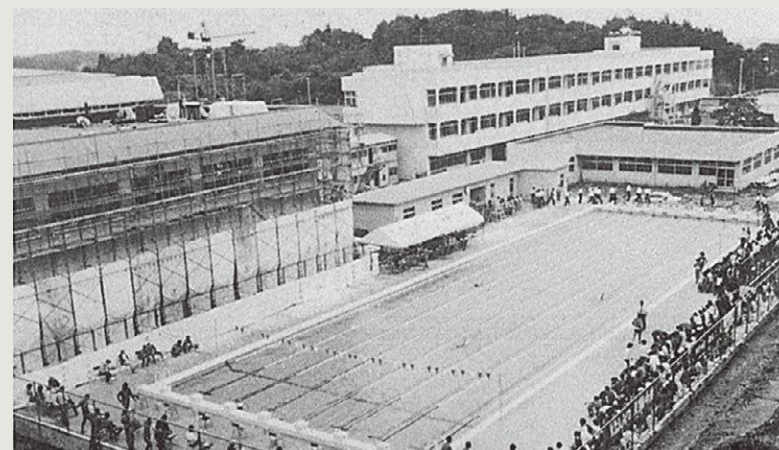
【県内】前年暮れの大雪で森林、農作物の被害446億円に。49市町村に激甚災害法適用(2月)国の歴史的町並み保存地区に下郷町「大内宿」(3.27)【国内】閣議で2月7日を「北方領土の日」と決定(1.6)ローマ法王・ヨハネ・パウロ2世来日(2.23)【国際】中国、4人組裁判で判決(1.25)



双葉中学校



町営住宅の前田団地



双葉中学校の50mプール＝昭和55年5月完成



第1回健康マラソン大会で元気に走る子どもたち＝昭和55年10月

1981.4 ▶ 1991.3

合併から40年

1981(昭和56)年4月 ▶ 1991(平成3)年3月

1981(昭和56)年の町民憲章に続いて町のシンボルとなるものが制定された。1985(昭和60)年9月に町旗が披露され、1986(昭和61)年10月には、町の花に「さくら」、木に「せんだん」、鳥に「きじ」が制定された。1988(昭和63)年5月に町民の歌、ふたば音頭が決定した。町奨学金貸与制度が発足、町婦人消防隊が結成され、町芸術文化団体連絡協議会や町青少年育成町民会議などが設立された。1984(昭和59)年7月に町図書館が開館。町友好訪中団が中国を訪問し、青年の海外派遣事業も行われた。



旧役場庁舎



町役場庁舎前にあり、町民の心を和ませた噴水

公立双葉准看護学院開校(双葉地方広域市町村圏組合管理)

双葉町役場庁舎建設工事起式

【県内】福島空港の建設地が「須賀川東」に決定(2.1)東北新幹線大宮-盛岡間が先行開業(6.23)
【国内】ホテル・ニュージャパン火災33人死亡(2.8)日航機、羽田空港前の海面に墜落、24人死亡(2.9)【国際】ローマ法王訪英、450年ぶり和解(5.28)

【県内】2度の台風襲来で大被害(8.23、10.23)福島放送が開局(10.1)第3セクター「野岩鉄道」設立(11.19)【国内】北炭夕張新鉱でガス突出事故、93人犠牲に(10.16)第2臨調第1次答申と行革法成立(11.27)【国際】フランス、23年ぶりに社会党政権(5.10)

1981
昭和56年
(4月~)

11月 町公共下水道事業着手

1982
昭和57年

3月 町営住宅(前田団地4号棟)落成

長塚団地分譲(福島県住宅供給公社)

4月 助役に横田泰清氏就任

1983
昭和58年

3月 双葉町役場庁舎落成(大字新山字前沖28番地に移転)、3月24日に落成式

町営住宅(前田団地5号棟)落成

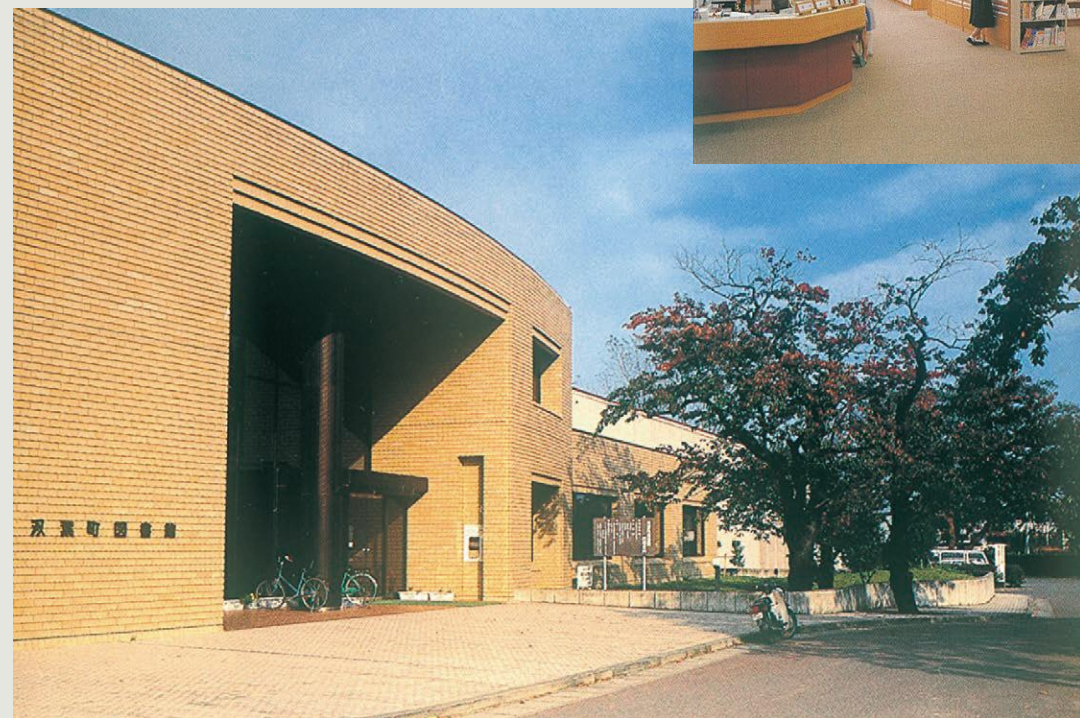
4月 町防災行政無線開局



双葉准看護学院



北部コミュニティセンター(鴻草地区)



昭和59年3月に完成し、7月に開館した町図書館と館内

町長に田中清太郎氏再任

5月 町議会改選。議長に伊澤昭久氏、副議長に鈴木重晴氏就任

12月 北部(鴻草、渋川、中田地区)コミュニティセンター落成

【県内】詩人の草野心平氏が文化功労者に(10.21)テレビユー福島が開局、県内4局そろそろ(12.4)【国内】日本海中部地震が発生、死者104人(5.26)田中元首相に懲役4年の判決(10.12)【国際】ソ連空軍機、大韓航空機を撃墜、日本人も死亡(9.1)

1984
昭和59年

3月 町図書館落成(7月4日落成式、5日に開館)

5月 第34回双葉地方植樹祭(石熊地区)

7月 町営住宅(前田団地6号棟)落成

9月 町合併30周年記念としてタイムカプセル埋蔵(図書館前)

三字ライスセンター落成

10月 杉下踏切拡幅工事が完成し、開通

町教育委員会教育長に渡辺豊光氏再任

【県内】第3セクター「阿武隈急行」を設立(4.3) ロサンゼルス五輪に県勢5人出場(7月~) 【国内】グリコ・森永脅迫事件(3月~) 日銀、15年ぶりに1万円、5千円、千円の新札発行、聖徳太子の時代に幕(11.1) 【国際】英と中国、香港返還に正式調印(12.19)

1985 昭和60年

3月 石熊浄水場落成

町上水道第2期拡張工事落成(5月27日に落成式)

6月 町友好訪中団が中国(上海・蘇州・西安・北京)を訪問

85ふくしま緑の百景に「前田の大杉」が選ばれる

9月 町旗制定

11月 長塚第2団地第1期分譲(福島県住宅供給公社)

12月 町長に岩本忠夫氏就任

町議会議長に鈴木重晴氏、副議長に川原光義氏就任

【県内】東北新幹線上野駅乗り入れ開業(3.14) 水稲が史上最高の豊作、作況指数111(10月~) 【国内】つくば科学万博開催(3~9月) 日航機が御巣鷹山に墜落、520人死亡、4人が生存(8.12) 【国際】コロンビアで火山噴火、死者2万5千人(11.13)

1986 昭和61年

2月 大雪被害(積雪60cmを記録・ハウス農家等に大きな被害)

4月 浪江警察署双葉駐在所が落成(新山字久保前)し、業務開始

助役に渡辺豊光氏、収入役に稲田善兵衛氏、町教育委員会教育長に館下要蔵氏就任

町奨学資金貸与制度発足

5月 長塚第2団地第2期分譲(福島県住宅供給公社)

8月 天野光晴建設大臣就任(双葉町名誉町民)

双葉北幼稚園建築工事着工

町農村広場落成(山田地区)

9月 町海の家建築工事着工

石熊、両竹ライスセンター落成

10月 町の花鳥制定(花・さくら、木・せんだん、鳥・きじ)

12月 浄化センター汚水幹線工事の着工

町婦人消防隊結成

【県内】8.5豪雨で県下に大被害(8.4、5) 会津鬼怒川線が開業(10.9) 会津若松市に県立博物館落成(10.18) 【国内】男女雇用機会均等法が施行(4.1) 伊豆大島の三原山大噴火、全島民が避難(11.21) 分割民営の国鉄法成立(12.8) 【国際】チェルノブイリ原発で重大事故(4.26)

1987 昭和62年

3月 町芸術文化団体連絡協議会発足

双葉北幼稚園落成

4月 福島県沖地震発生(4月7日) 震度5 ブロック等倒壊被害

双葉南・北幼稚園通園バス運行

町海の家落成式(7月マリンハウスふたばとしてオープン)

5月 町議会議長に鈴木重晴氏、副議長に丸添富二氏就任

9月 クリエイティブ双葉百人委員会を設置し、初会合

町民(青年)海外派遣事業初めて実施

10月 寺松公民館落成

11月 第1回町健康駅伝マラソン大会

町青少年育成町民会議設立

【県内】福島医大付属病院が移転、開業(6.1) 新生・会津線開業(7.16) 東北横断道いわき郡山間着工(10.14) 草野心平氏に文化勲章(11.3) 【国内】国鉄分割・民営化(4.1) 天皇陛下が入院手術(9.22) 利根川進氏にノーベル医学・生理学賞(10.12) 【国際】フィリピンで世界最大の海難事故(12.20) 大韓航空機消息絶つ。韓国が「北朝鮮工作員の金賢姫、爆弾テロ自供」と発表(11.29)

1988 昭和63年

3月 請戸川大楯ダム完成貯水開始

5月 町民の歌、ふたば音頭決定

6月 第1回町名所めぐりハイキング実施

10月 町教育委員会教育長に館下要蔵氏再任

11月 石熊地区運動広場完成

【県内】常磐自動車道いわき中央-日立北ICが開通(3.24) 阿武隈急行が悲願の全線開業(7.1) 福島空港、待望の起工式(9.14) 【国内】世界最長の青函トンネル開業、連絡船は80年の歴史閉じる(3.13) リクルート事件(6~12月) 【国際】イラン・イラク戦争、8年ぶりに停戦(8.20)

1989 昭和64年 平成元年

3月 請戸川農業水利事業国営分完成

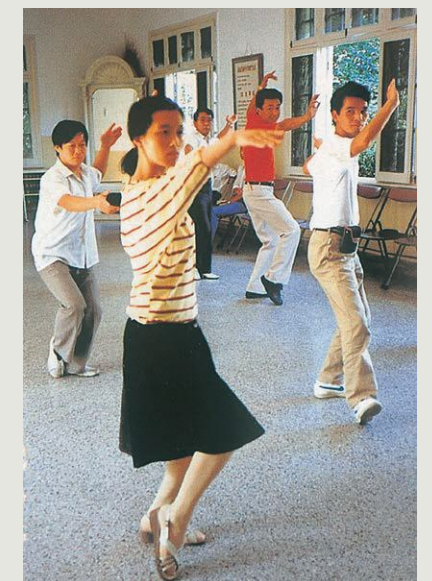
下条公民館落成



落成した三字ライスセンター=昭和59年9月



完成した石熊浄水場=昭和60年3月



町友好訪中団の中国訪問=昭和60年6月



双葉北幼稚園開園=昭和62年4月

- 4月 町浄化センター落成、下水道供用開始
- 6月 双葉工業団地造成工事第1期分起工式
- 7月 NHKラジオ体操双葉南会場開設
町総合公園区域決定(福島県都市計画審議会承認)
ブラジル日系青年農業研修生2名受け入れ
- 9月 町人づくり推進会議発足
- 11月 第1回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会出場
- 12月 町長に岩本忠夫氏再任

【県内】台風13号、本県直撃で大きな被害(8.6、7)土湯、中山両トンネル開通(9.27、10.26)県人口210万人突破(11.1)【国内】昭和天皇崩御(1.7)美空ひばりさん死去(6.24)第15回参院選で与野党逆転(7.23)連続少女誘拐殺人で容疑者逮捕(8.11)



完成したマリンハウスふたば(海の家) = 昭和62年4月

1990
平成2年

- 3月 広町公営住宅建て替え工事完成
- 4月 助役に西崎国雄氏就任、収入役に稲田善兵衛氏再任、町教育委員会教育長に館下要蔵氏再任
- 7月 双葉海岸多目的保安林総合整備事業完成
- 9月 ブラジル日系青年農業研修生1名受け入れ
- 10月 長塚第2団地第3期宅地分譲(福島県住宅供給公社)
- 11月 双葉厚生病院増改築工事完成

【県内】ふくしま国体の開催が内定(7.11)磐越自動車道郡山-磐梯熱海間が開通(10.31)県人口史上最高の210万4119人(12.3)【国内】湾岸危機で日本人も人質に(8~12月)天皇即位の礼(11.12)大嘗祭(11.22、23)【国際】ペルー大統領にフジモリ氏(6.10)イラク軍、クエート侵攻(8.2)

1991
平成3年
(~3月)

- 2月 町教育研究会設立総会

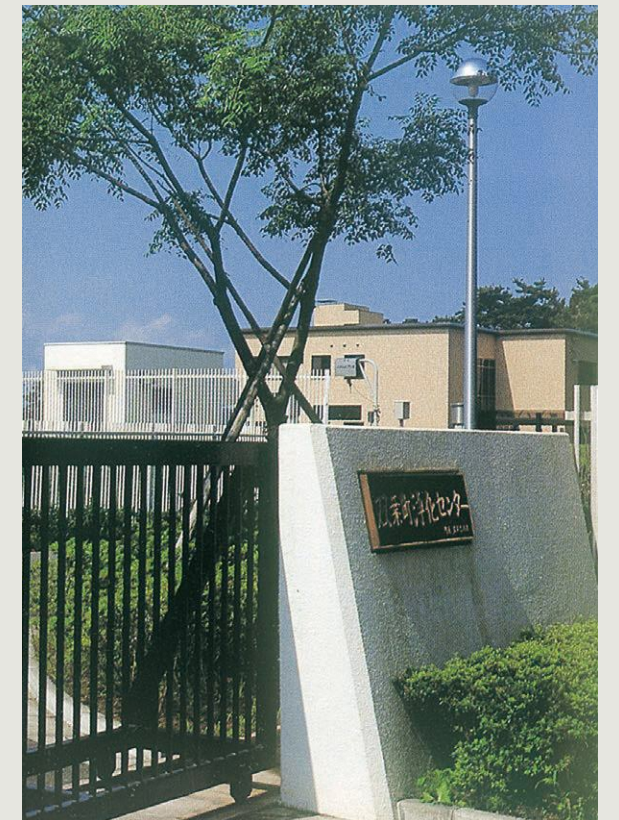
【県内】会津除く市町村、スパイクタイヤ使用禁止区域に指定(1.11)【国内】政府、湾岸戦争で多国籍軍に総額90億ドルの追加支援を決定(1.24)新東京都庁舎が新宿副都心に完成、243mと日本一高いビルが誕生(3.9)【国際】多国籍軍、イラク側戦略拠点に爆撃開始(1.17)



竣工した下条公民館 = 平成元年3月



広町公営住宅 = 平成2年3月



町浄化センターが落成し、下水道の供用開始 = 平成元年4月

1991.4 ▶ 2001.3

合併から50年

1991(平成3)年4月 ▶ 2001(平成13)年3月

1991(平成3)年11月10日に合併40周年記念式典が行われた。1995(平成7)年に福島県で「ふくしま国体」が開催され、町内を国体旗・炬火リレーが通過した。本県が天皇杯、皇后杯を獲得し、国体での選手の活躍に県民が沸いた。町の施設整備では、総合保健福祉施設「ヘルスクアールふたば」やコミュニティーセンター「ステーションプラザふたば」などが次々に開館した。行政面では、1994(平成6)年6月に住民基本台帳電算記録システムが始動、2000(平成12)年4月に町情報公開制度がスタートした。

合併40周年を記念して植樹

11月10日の記念式典に先立ち、町役場前で記念植樹が行われました。
名誉町民の天野光晴先生をはじめ双葉北小学校みどりの少年団員が出席、町の花「サクラ」と町の木「センダン」合わせて11本を記念植樹しました。



合併40周年を記念して町の花「サクラ」と町の木「センダン」を記念植樹＝広報ふたば平成4年1月合併40周年記念式典特集号

1991 平成3年 (4月～)

- 5月……………町議会議長に新川克氏就任、副議長に丸添富二氏再任
彌榮精機株式会社双葉工場竣工(双葉工業団地誘致企業第1号)
- 9月……………双葉町議会「原発増設に関する決議」を全会一致で採択
- 10月……………町防犯協会設立総会
- 11月10日……………双葉町合併40周年記念式典挙行
- 11月……………双葉町が国県、東京電力(株)に対して原子力発電所増設要請
- 12月……………日東金属工業株式会社操業(工業団地誘致企業)

1992 平成4年

- 3月……………上羽鳥ライスセンター落成
- 4月……………企画開発課内に原子力対策室を新設
- 5月……………山田多目的集会所落成
第42回双葉地方植樹祭(石熊砂防ダム南側)
- 6月……………名誉町民の天野光晴元建設大臣、故小野田忠博士の肖像画掲額式(役場正庁)
双葉町シルバー人材センター設立総会

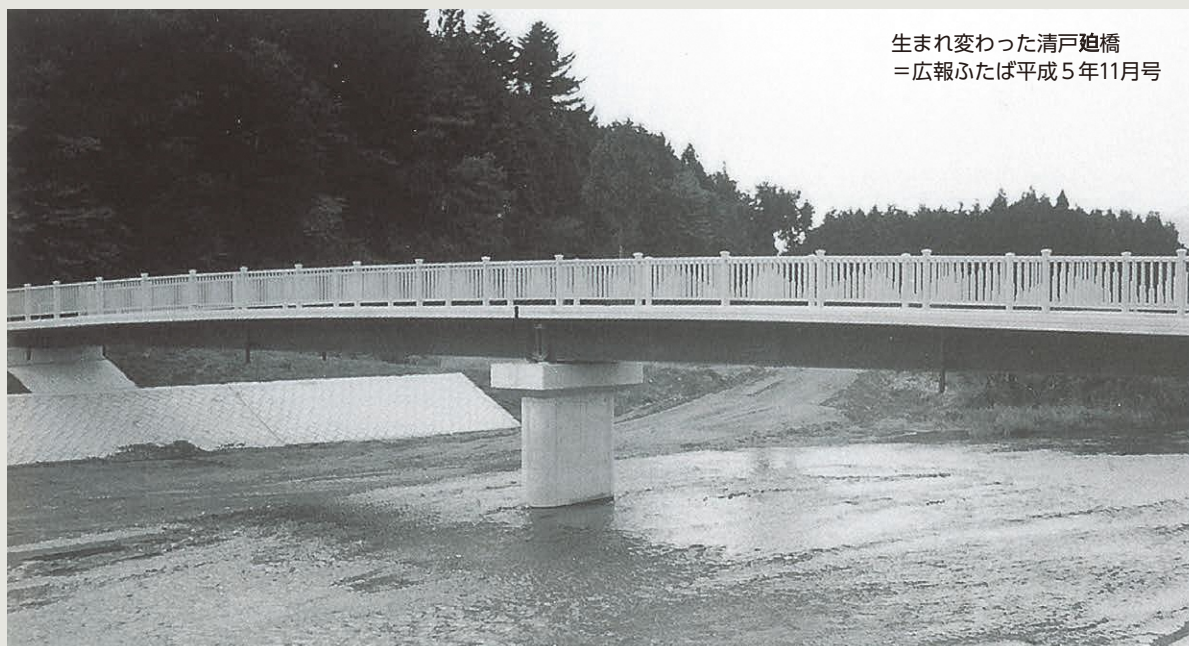


第1回少年の主張大会の発表者＝広報ふたば平成4年10月号



創立70周年を祝った双葉高の記念式典
協会の役員が祝詞を述べた。田山末元校長が受賞者を代表してお話を述べ、同窓生の鈴木道雄日本道徳会副会長が生誕100周年の言葉を述べた。これに対して、生徒会長の森田敏弘があいさつした。午後からは町体育館で祝賀会催した。双葉高は大正十三年四月に双葉中として創立し、これまでに約一万三千人が卒業している。七十周年を記念して正岡北朝に同窓会館の梅壇(せんたん)会館を建設した。

双葉高の創立70周年記念式典＝平成5年9月26日付福島民報



生まれ変わった清戸迫橋＝広報ふたば平成5年11月号



橋の完成を祝ってテープカットする岩本町長＝同



鼓笛パレードで開通を祝う双葉南小の児童＝同

7月 ブラジル日系青年農業研修生
2名受け入れ

8月 工業団地に進出が決定してい
る株式会社東京レーベル(本
社・東京)と調印式

標葉せんだん太鼓実行委員会
設立総会

11月 双葉町歴史民俗資料館落成

町教育委員会教育長に館下要
蔵氏再任

【県内】 裏磐梯で4極通商会議(4.24~26)山形
新幹線開業(7.1)磐越自動車道が会津坂下まで
開通(10.29)【国内】 P K O協力法成立(6.15)天
皇・皇后両陛下が初の中国ご訪問(10.23)【国際】
米大統領選で民主党のクリントン氏勝利(11.3)

1993 平成5年 大日岳が初の関取

4月 東洋電溶株式会社(本社・東
京)福島工場の竣工(工業団
地誘致企業)

5月 町議会議長に大井誠氏、副議
長に川原光義氏就任

8月 町海外派遣事業「21世紀青春
の翼」がニュージーランド
へ。青少年の派遣は初めて

鴻草住宅団地分譲(15戸)

新十両大日岳関(大字郡山出
身)の化粧まわし贈呈披露式
(町公民館)

町出身の大日岳が大相撲名古屋
場所で大相撲名古屋場所
で十両に昇進。双葉郡内で初の
関取に

9月 株式会社東京レーベル(本
社・東京)の福島工場落成(工
業団地誘致企業)

10月 清戸迫橋(新山天王下地内・
愛称なかよし橋)開通式

12月 町長に岩本忠夫氏再任

【県内】 福島空港が開港(3.20)会津大学が開学
(4.1)元外相伊東正義氏が政界引退(6月)【国内】
皇太子さま、雅子さまご結婚(6.9)細川連立政
権が発足(8.9)【国際】 ガット、新ラウンド交渉
妥結(12.15)

1994 平成6年 住民基本台帳システム始動

1月 町教育委員会教育長に鎌田益
實氏就任

4月 助役に西崎国雄氏再任、収入
役に稲田善兵衛氏再任

双葉町児童館新築開館(長塚
字鬼木に移転)

6月 住民基本台帳電算記録シス
テム始動

9月 郡山中野海岸が建設省の「な
ぎさリフレッシュ事業」認定
(全国で3カ所)

10月 京都府瑞穂町(現・京丹波町)
と姉妹町の締結(瑞穂町役場)

【県内】 政治改革に伴い、本県は5選挙区に(1.29)
猛暑と干ばつ(7~9月)【国内】 自社さで村山政
権誕生(6.29)大江健三郎氏にノーベル文学賞
(12.10)【国際】 ロサンゼルス大地震発生(1.17)

1995 平成7年 ふくしま国体の炬火リレー

2月 京都府瑞穂町との姉妹町締結
祝賀会を町内で開催。両町の
花を記念植樹

5月 町議会議長に木幡忠照氏、副
議長に富澤俊明氏就任

8月 ブラジル日系青年農業研修生
2名受け入れ(4回目)

10月 ふくしま国体旗・炬火リレー
双葉町選手団が浪江町へバト
ン

議会の仕組み分かったよ

双葉子ども議員が登壇

町長に鋭い質問

双葉町の子ども議会が十四日、町役場内の議場で開かれた。町内の小学六年生の代表に議場で直接、議会の進め方や政治への関心を深めてもらうことを目的として、双葉南、北の各小から八人が参加した。初めに全員協議会を開いて、町の担当者が議会の仕組みや役割、運営方法などを説明した。運営方法として、岩本忠夫町長、大井誠町議会議長があいさつしたあと、議員となった児童を招待して話を聞いた。

議員は、双葉南、双葉北の小学校別に行った。議長は児童の中から選出した。翌朝の朝会では、二十一世帯のPR方法、文化センターの建設、お年寄りや障害者に優しい町づくり、公園の整備、ごみのリサイクルなど幅広い分野にわたって、大人の議員に負けない質問を展開し、町の考えを述べた。これに対して、岩本町長が「ひとつずつ丁寧に回答していた。」

初の子ども議会=平成6年11月17日付福島民報



町内をリレーするふくしま国体の炬火=広報ふたば平成7年11月号

「元気の出る道」オープン

5.8キロ健康コース

町民ら早速、歩き初め。

町民の健康増進を旨とした双葉町の「元気の出る道」の開通式が十六日、青年婦人会館を通過する「はつらつ路線・元気の出る道」と名付けられた。開通式では、岩本忠夫町長が「元気の出る道を毎日歩いて、元気になってほしい」とあいさつした。柳沢正徳町長、西崎国雄助役、あいさつし、西崎国雄助役が事業概要を説明した。工事に当たった羽山工建に感謝状を贈り、大井誠町議会議長が祝辞を述べた。

百三十万円をかけて案内板、健康表示板、方向表示板、休憩ベンチを設置した。コースは全長五・八キロで、町体育館をスタートし、JR双葉駅前、新山柳通り、町役場、郡山イースンスタ、青年婦人会館を通過する。町は「はつらつ路線・元気の出る道」と名付けた。

記念講演では、郡山市の太田西四内病院の藤沼宏彰医学博士が「歩く歩こう」と題して話した。岩本町長がテープカットしたあと、家族連れら町民約六十人が早速「元気の出る道」を思い思いの速度で歩いていた。

「はつらつ路線・元気の出る道」オープン=平成7年3月30日付福島民報

一層の町勢伸展誓う

双葉町合併45周年で記念式典

双葉町の合併四十五周年記念式典は十日、町体育館で行われ関係者が町勢の一層の伸展を誓い合った。国、県、町などから二百二十八人が出席した。岩本忠夫町長が「関係者のおかげで町は発展している。これからも人づくり、町民生活を優先した施策を続けていきたい」とあいさつ。来賓の三野喜喜也県相双葉方振興局長、坂本剛二、木幡弘道町代議員、佐藤静雄参院議員、横山人興議員、姉妹町・京都府瑞穂町の黒田夫町長、木幡忠照双葉町議会議長が祝辞を述べた。式終了後、町公民館で祝賀会も開かれた。

双葉町は昭和二十六年四月、旧新山町と長塚村が合併し標葉町となり、四十二年に現在の町名となった。

合併45周年の記念式典=平成8年11月12日付福島民報

【県内】 福島国体で本県が男女総合優勝(1、2、9、10月) 磐越自動車道いわき郡山間が開通(8.2) 【国内】 阪神・淡路大震災が発生(1.17) 【国際】 米オクラホマの連邦ビル爆破(4.19)

1996
平成8年 **町民の翼 中国へ**

- 4月 日本ケンブリッジフィルター東北工場落成(工業団地誘致企業)
- 10月 町合併45周年記念事業「双葉町民の翼友好訪中団」が中国の北京、西安、桂林、上海訪問
- 11月 町教育委員会教育長に渡部喜綱氏就任
- 11月10日 双葉町合併45周年記念式典(双葉町体育館)
- 12月 双葉中学校創立50周年記念式典

【県内】 本県でもO157の感染広がる(8月~) 初の小選挙区比例代表並立制による総選挙(10.20) 【国内】 村山内閣総辞職(1.5) 破綻の住専処理に税金投入(5~7月) 【国際】 近代五輪100周年のアトランタ五輪開幕(7.19)

1997
平成9年

- 2月 下長塚公民館落成
- 3月 双葉町温泉揚湯式(双葉町青年婦人会館)
- 5月 町議会議長に佐藤大和氏、副議長に石橋寿美氏就任
- 7月 双葉新山団地(ふたばパークヒルズ)造成工事の起工式(7.8日、計画戸数113戸)
駅前コミュニティセンター建築工事の起工式
- 10月 町総合保健福祉施設建築工事の起工式
- 12月 町長に岩本忠夫氏再任

【県内】 中核市・郡山スタート(4.1) Jヴィレッジがオープン(7.20) 磐越自動車道が全線開通(10.1) 【国内】 臓器移植法成立(6.17) サッカー日本代表、W杯初出場決める(11.16) 拓銀、山一証券など経営破綻(11.17) 【国際】 香港が1世紀半ぶり中国に返還(7.1)

1998
平成10年 **ステーションプラザふたば完成**

- 4月 助役に相川允良氏就任、収入役に永井幸雄氏就任
- 5月 双葉海水浴場が日本水浴場55選(平成13年88選、平成18年快水浴場百選)
- 6月 JA双葉町 カントリーエレベーター完成
- 10月 町コミュニティセンター「ステーションプラザふたば」が落成

【県内】 県南中心に集中豪雨や台風被害(8~10月) 県産業交流館「ビッグパレット」完成(10.13) 本県、プルサーマルを受け入れ(11.2) 【国内】 戦後最悪の不況(年間) 長野冬季五輪開幕(2.7)、日本史上最多のメダル獲得 【国際】 20世紀最後のサッカーW杯、日本初出場(6月)

1999
平成11年 **ヘルスケアふたばがオープン**

- 4月 総合保健福祉施設(ヘルスケアふたば)がオープン
ヘルスケアふたばでデイサービスセンター開所式
せんだん温泉オープン
- 5月 町議会議長に丸添富二氏、副議長に谷津田光治氏就任
- 7月 ふれあいふたば産地直売所が開所(JAふたば営農センター前)
- 8月 ふたばパークヒルズ第1期分譲開始
- 10月 町教育委員会教育長に小川兼太郎氏就任

【県内】 福島医大で本県初の脳死移植(6.14) 天皇・皇后両陛下が豊かな海づくり大会などでご来県(9.13、10.2~4) 【国内】 東海村の工場内で国内初の臨界事故(9.30) 【国際】 欧州単一通貨ユーロ誕生(1.1)

2000
平成12年 **町情報公開制度スタート**

- 4月 町情報公開制度スタート
総合公園テニスコートオープン
NPO法人双葉ふれあいクラブ設立総会
- 10月 常磐自動車道富岡一新地間の整備で双葉町区間の設計協議が成立し、町役場で調印式

【県内】 福島空港の2500m滑走路全面供用開始(7.13) 皇太子ご夫妻をお迎えし猪苗代町で全国育樹祭(9.17) 【国内】 介護保険制度スタート(4.1) シドニー五輪女子マラソンで高橋尚子選手が金メダル(9.24) 【国際】 ロシア大統領にプーチン氏就任(5.7)

2001
平成13年
(~3月)

- 2月 せんだん温泉浴室改修工事完成
- 【県内】 記録的な大雪で各地大混乱。会津若松で観測史上3番目の積雪を記録(1.4~8) 【国内】 ハワイ沖で実習船「えひめ丸」が米原潜に衝突され、実習生ら9人死亡(2.9) 【国際】 米大統領にジョージ・ブッシュ氏就任(1.20)



双葉中学校が創立50周年記念式典 = 広報ふたば平成9年1月号



町青年婦人会館の敷地内で温泉掘削工事により湧き出した温泉に手を入れる関係者 = 広報ふたば平成9年5月号



町と県住宅供給公社が協定して進めた双葉新山団地の造成工事 = 広報ふたば平成9年9月号

2001.4 ▶ 2011.3

合併から60年

2001(平成13)年4月 ▶ 2011(平成23)年3月

2001(平成13)年9月に戸籍事務が電算化した。2003(平成15)年に町の新たな交通システムが稼働した。2001年10月28日に合併50周年記念式典を行った。全国的に災害が多発し、町内で自主防災組織が誕生し、2007(平成19)年10月に第1号となる「郡山地区防災会」に認定書が交付された。「山田地区防災会」「細谷地区防災会」「浜野地区防災会」と続いた。2008(平成20)年夏には北京オリンピックが開催され、町出身やゆかりの選手では自転車競技の渡邊一成選手、女子サッカー競技の丸山桂里奈選手が日本代表として出場。町民が熱い声援を送った。

そして、2011(平成23)年3月11日、東日本大震災が発生した。



第54回県下消防大会で民友旗を受賞し、町内をパレードする町消防団員＝広報ふたば平成13年7月号



半世紀の歩みを振り返り、町勢のさらなる飛躍を誓った合併50周年記念式典＝広報ふたば平成13年12月号

2001
平成13年
(4月～)

- 5月 町消防団が第54回県下消防大会で民友旗を受賞
- 9月 町役場で戸籍事務電算化稼働式
- 10月28日 双葉町合併50周年記念式典挙行(双葉町体育館)
- 12月 町長に岩本忠夫氏再任
山田郡山線等完成式

【県内】 県内各地で大型店破産、閉鎖(年間) うつくしま未来博、須賀川で86日間開催(7～9月) 玄侑宗久氏(三春町)に芥川賞(7.17) 【国内】 小泉内閣が発足(4.26) 大阪・池田小で児童殺傷事件(6.8) 国内初、BSEの牛確認(9.10) 【国際】 米で最悪の同時多発テロ(9.11)

2003
平成15年

- 3月 郡山公民館落成
- 5月 町議会議長に谷津田光治氏、副議長に西内忠正氏就任
- 9月 「ふたば夢工房企業組合」の創立総会
- 11月 双葉町交通システム運行開始(全国初のバスとタクシーの複合型生活路線)、ふたばふれあいタクシー運行開始

【県内】 民事再生法の申請相次ぐ(年間) 東電の県内と新潟県内の原子炉17基がすべて停止(4.15) 【国内】 日本郵政公社が営業を開始(4.1) 宮城県北部で震度6クラスの地震が3回発生(7.26) 北海道釧路沖で地震、死者も(9.26) 【国際】 米「コンビア」が大気圏突入の途中で空中分解(2.1)

2002
平成14年

- 3月 長塚二公民館落成
- 4月 助役に相川允良氏再任、収入役に永井幸雄氏再任
- 8月 住民基本台帳全国ネットワーク稼働
- 9月 双葉町議会が「東京電力福島第一原子力発電所の増設に関する決議」を凍結
- 11月 町史編纂委員会が27年間にわたって続けてきた町史編纂作業が終了し、双葉町史の完結式

【県内】 常磐道のいわき四倉～広野1C間が開通(3.23) 新千円札の図柄に野口英世(8.2) 【国内】 日韓共同開催のサッカーW杯開催(5～6月) 初の日朝会議、拉致の5人帰国(9.17、10.15) 【国際】 ユーロ圏で単一通貨「ユーロ」流通開始(1.1)

2004
平成16年

- 4月 町教育委員会教育長に江尻邦夫氏就任
ふたば夢工房「農産物加工施設」落成
- 6月 双葉海浜公園宿泊施設「ログハウス」3棟落成・7月1日オープン
- 7月 ふれあいふたば産地直売協議会の直売所「よってみっせ」が開所
- 12月 新山公民館落成

【県内】 常磐道広野～常磐富岡間開通(4.14) アテネ五輪で自転車の伏見俊昭選手が銀メダル(8.21) 【国内】 大リーグのイチロー選手がシーズン最多安打を84年ぶり更新、262本(10.1) 新潟県中越地震で死者40人(10.23) 【国際】 インドネシア・スマトラ沖で大地震、死者多数(12.26)

2005
平成17年

- 1月 双葉町に東京電力女子サッカー部「マリーゼ」が誕生(21人の選手が双葉町に住民登録)
 - 3月 町名物のダルマのイメージキャラ・愛称募集で「フタバくん」採用
 - 4月 新山商店街で南地区の「ひと休み処ふれあい」開所
 - 9月 黒田一夫瑞穂町長(京都府)が来庁、合併により10月11日から京丹波町となる。合併後も友好関係を継続
 - 11月 双葉総合公園整備事業の一環で進めていた野球場オープン
- 特別養護老人ホーム「せんだん」(70床、ショートステイ10床) グループホーム「せんだんの家」(9床) 開設
- 町長選で井戸川克隆氏が初当選。21日に当選証書付与式

12月 町長に井戸川克隆氏就任(11月20日初当選)

【県内】 県内11番目の市「田村市」が誕生(3.1) 宮城県沖を震源とする大地震で県内でも被害(8.16) 【国内】 兵庫県のJR福知山線で脱線事故、死者107人(4.25) 郵政民営化法が成立(10.14) 【国際】 英で同時自爆テロ(7.7)

2006
平成18年

- 3月 石熊公民館落成
- 常磐自動車道前田川橋が完成
- 5月 京都府京丹波町と友好町提携の調印式(東京都)
- 7月 双葉町行財政改革推進委員会設置

【県内】 平成の大合併進み南相馬市、伊達市が誕生(1.1) 前知事逮捕で県内に激震(7~11月) 新知事に佐藤雄平氏(11.12) 【国内】 トリノ五輪でフィギュアの荒川静香選手が金メダル(2月) 秋篠宮家に悠仁さま誕生(9.6) 【国際】 フィリピン・レイテ島で大規模な地滑り(2.17)

2007
平成19年

- 4月 副町長に齊藤実氏就任(地方自治法の改正で助役が副町長に名称変更)
- 国道6号久保前地下道が完成、安全・安心な歩行空間の確保
- 5月 町議会議長に清川泰弘氏、副議長に佐々木清一氏就任
- 6月 双葉町長が「福島第一原子力発電所の増設決議の凍結」について、議会に凍結解除を要請
- 双葉町議会、福島第一原子力発電所7、8号機の増設凍結決議解除を可決
- 7月 新潟県中越沖地震・震度6強(17日柏崎市、刈羽村に支援物資届ける。27日ボランティア参加)
- 10月 自主防災組織の郡山地区防災会への認定書交付式
- 11月 山田地区防災会への認定書交付式
- 12月 両竹公民館落成

【県内】 本宮町と白沢村が合併し本宮市が誕生(1.1) 環境省、尾瀬を単独で国立公園に指定と告示(8.30) 【国内】 参院選で自民が歴史的な大惨敗(7.29) 安倍晋三首相が突然の辞意表明(9.12) 郵政民営化がスタート(10.1) 【国際】 7年ぶりに南北首脳会談(10.2)

2008
平成20年

- 4月 町教育委員会教育長に江尻邦夫氏再任
- 5月 渋川地内で双葉地方水道企業団の通水式。浪江町(昭和45年度)からの水道水の供給を廃止し、木戸ダムから水道水を供給



常磐自動車道前田川橋の完成祝う＝写真は平成18年3月16日付福島民報



郡山地区防災会に認定証。認定証を受ける斉藤会長(中央)＝写真は平成19年10月10日付福島民報



山田地区防災会に認定証。井戸川町長から認定証を受ける佐藤会長(中央)＝写真は平成19年11月4日付福島民報



木戸ダムの水を町に供給する通水式＝広報ふたば平成20年6月号

元気!! 双葉町

七転び八起きの精神で町の振興を……。ダルマ「イメージキャラクターと愛称」決定!!

▲賞状を受ける藤井和佳子さん

フタバくん

二月に募集が行われ、県内外から多数の応募があったダルマ「イメージキャラクターと愛称」の入選作品が決まりました。

入賞したのは「明るくて、やさしくて、みんなから愛されるイメージを出したかった」という町内の藤井和佳子さん(新山)

山田の作品で、愛称は「フタバくん」です。

町では今後「フタバくん」を町のイメージアップや振興に活用していく予定です。

佳作には村山純也さん(新地町)と平野井徹さん(福島市)の作品が選ばれました。

ダルマのイメージキャラクターと愛称が決定＝広報ふたば平成17年5月号

6月.....渡邊一成選手北京五輪自転車競技出場壮行会を開催(町体育館)

7月.....丸山桂里奈選手北京五輪女子サッカー競技出場激励会(役場正庁)

8月.....双葉高校家庭クラブが第56回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会で最優秀賞の「文部科学大臣賞」と出場生徒の投票で選ぶ最高賞の「クラブ員奨励賞」をダブル受賞。3年連続「高校家庭クラブ日本一」の快挙達成

北京オリンピック自転車競技日本代表として渡邊一成選手が出場

北京オリンピック女子サッカー日本代表として丸山桂里奈選手が出場

【県内】前知事に東京地裁で有罪判決(8.8)北京五輪・パラリンピックで県勢が活躍(8~9月)【国内】後期高齢者医療制度がスタート(4.1)日本人学者4人にノーベル物理学賞、化学賞(12月)【国際】リーマン・ブラザーズが経営破綻(9.15)

2010 平成22年

2月.....町内での交通事故死者ゼロ二千日を達成

7月.....町学校給食センター建築工事が着工

9月.....大野病院と双葉厚生病院の統合に向けて準備(平成23年4月)JA福島厚生連が経営予定

11月.....第1回双葉の逸品コンテスト開催。双葉の逸品・逸材発掘プロジェクト委員会が主催し、100点を超える応募があった

原子力防災訓練(25、26日)双葉町・大熊町)

【県内】箱根駅伝で東洋大の柏原竜二選手が大活躍、東洋大の2連覇に貢献(1.2、3)福島空港の搭乗者過去最低、日航の撤退が打撃(4.19)【国内】普天間移設で日米合意、迷走の鳩山内閣は総辞職(6.4)参院選で民主党大敗、ねじれ国会に(7.12)【国際】チリで大地震、津波が日本に到達し、大津波警報発令(2.27)

2011 平成23年 (~3月)

3月11日、東日本大震災発生

【県内】経済産業省原子力安全・保安院が東京電力福島第一原発1号機に40年超の運転を認可(2.7)【国内】宮崎市で鳥インフルエンザ(1.22)、その後全国で感染確認。北陸の大雪で車800台が立ち往生(1.31)【国際】ニュージーランド地震で日本人28人死亡(2.22)

2009 平成21年

1月.....県立大野病院と双葉厚生病院が経営統合の方向で検討されていることを受け、町と町議会はJA福島厚生連に対し、現在の双葉厚生病院の機能維持・充実を要望

3月.....町役場で町光ファイバー網の開通式

町道山田郡山線(富沢こ道橋)開通

8月.....細谷地区防災会、浜野地区防災会への認定書交付式

12月.....町長に井戸川克隆氏再任

【県内】猪苗代・磐梯町でフリースタイルスキー世界選手権大会(3.2~8)地裁郡山支部で県内初の裁判員裁判開始(9.29)【国内】新型インフルエンザが大流行、死者も増加(5~12月)衆院選で民主党圧勝、政権交代で鳩山政権誕生(9月)【国際】米で民主党のオバマ政権スタート(1.20)



双葉高校家庭クラブ3年連続全国一 = 写真は平成20年8月2日付福島民報



北京オリンピックに出場する渡邊一成選手、丸山桂里奈選手を激励して町役場に掲げられた懸垂幕 = 平成20年7月15日

地域の期待に応える 双葉ふれあいクラブ 懇親や太鼓演奏 10周年記念式典

記念誌「飛躍」作成し配布 活動内容を紹介 双葉ふれあいクラブ NPO法人 双葉ふれあいクラブの設立10周年記念式典は、二十四日、町体育館で行われた。多くの町民に親しまれ、一層の発展を誓い合った記念式典

は設立10周年の記念誌「飛躍」を作成、式典出席者に配布した。栗田理事長のあいさつを述べた。佐々木清一ゼネラルマネージャーが設立準備の思い出や十年間の活動を紹介した。引き継ぎ懇親会に移り乾杯の後、町内の標葉せんたん太鼓保存会が勇壮な演奏を披露しお祝いムードを盛り上げた。出席者はこれ

双葉ふれあいクラブの10周年記念式典 = 平成21年10月26日付福島民報

細谷地区、浜野地区に自主防災会が発足 8月24日、双葉町役場において、細谷地区防災会並びに浜野地区防災会の認定証交付式が行われ、井戸川克隆町長(細谷防区長)、菅本洋(浜野防区長)、浜野行政区長に認定証が手渡されました。井戸川町長は、「郡山、山田地区に続き、細谷、浜野地区に自主防災会が発足したことは大変喜ばしいことです。新潟県中越沖地震を教訓として、自分の地域は住民自ら守る」という自主防災会の意識で各種活動に取り組んでいただきたい」と挨拶を述べました。今後防災会は、防災に関する住民意識の啓蒙、各種訓練、防災備品の管理など通常の防災活動に加え、災害時の自主防災活動がスムーズにできるよう、消防団や警察署、隣接する行政区との連携により、「地域ごとの防災、減災」をめざした活動を展開することを誓います。

細谷地区、浜野地区防災会に認定証 = 広報ふたば平成21年10月号

交通事故死者ゼロ二千日達成! 平成22年2月20日午前零時で双葉町は交通事故死者ゼロ二千日を達成しました。2月22日、役場コミュニティホールにおいて、相双地方交通対策協議会長の古川雅之相双地方振興局長から町交通対策協議会長の井戸川克隆町長に福島県交通安全協議会会長である佐藤雄平知事からの表彰状が伝達されました。井戸川町長は、「交通事故死者ゼロ二千日を達成できたのは、町民の皆さん一人ひとりの自覚と正しげな交通ルール、交通マナーの心がけや交通関係団体の協力のおかげであり、これから新たな記録を目標に努力していきたい」とあいさつし、更なる記録の更新と交通安全を誓いました。表彰式には、星源一(浜野警察署長)、佐々木清一(副議長)、伊藤哲雄(浪江地区交通安全協会双葉支部長)、関田三枝(交通安全母の会会長)、富山一郎(交通指導員)、宮本昭男(交通指導員)が出席されました。役場庁舎南側には、「交通事故死者ゼロ二千日達成」の懸垂幕が下げられました。

町が交通事故死者ゼロ二千日達成 = 広報ふたば平成22年4月号